

7月1日は市制記念日

今年が市制施行112周年となります。

浜松は、現在放送されている大河ドラマの舞台となり、郷土の歴史に全国から注目も集まっていますが、徳川家康公が29歳の時、引間城に拠点移して城の大改築を行い、引間を浜松に改めた後、17年間を過ごし、天下泰平の礎を築いた、そのような地がここ浜松です。

その後、明治4年の廃藩置県を経て、遠州地方に浜松県が誕生し、遠州一円を管轄する行政の中心となりました。明治9年に浜松県は静岡県と合併し、明治22年には浜松町が誕生しました。

そして、明治44年7月1日、市制が施行され、浜松市が誕生しました。

初代浜松市長は鶴見信平氏で、鉄道院浜松工場(現JR

東海浜松工場)の誘致実現に大きく貢献し、もともと軽工業中心のまちであった浜松を「工業都市・浜松」へと転換する流れをつくった市長だと言われています。

7月1日の市制記念日に、私と同郷の偉人である鶴見信平初代市長(長上郡半田村生まれ)の功績や浜松市のこれまでの発展に思いを寄せ、浜松市の輝く未来のため全力で取り組んでいく決意を新たにしました。



三遠南信 ふれあい・ウォーク

《南信州地域 257》



360度 大パノラマ しらびそ高原

しらびそ高原は飯田市街地から車で1時間。標高1,900mにある雲上の楽園です。眼前には南アルプスの3,000m級の山々が広がり、季節に合わせた大自然を感じることができます。街の灯りが届かないため、夜は満天の星を楽しむことができ、夏はオートキャンプ場でテント泊もできます。豊かな自然はユネスコエコパークとして認定されており、日本唯一といわれる隕石クレーター「御池山クレーター」や日本のチロルと呼ばれる絶景地「下栗の里」など豊かな景観を楽しめます。

しらびそ高原唯一の宿泊施設「天の川」で信州サーモンや遠山こんにゃくなど地産地消にこだわった料理も楽しみながら、爽やかな夏を楽しんでみてはいかがでしょうか。

しらびそ高原「天の川」
場所：長野県飯田市上村979-53
問合せ：☎050-3583-2302
定休日：冬季休業12月～3月



- ▲ 360度パノラマビュー。雲海や南アルプスの絶景を楽しむことができます。
- ◀ きらめく満天の星は、天文ファンからも人気です。



「三遠南信ふれあいウォーク」は、浜松・豊橋・飯田の三市で共同制作しています。